

東京栄養サミット2021における外務大臣閉会挨拶

本日のハイレベルセッションを通じて、各国政府、国際機関、民間企業、民間財団、市民社会、学术界の皆様から、世界の栄養状況の改善に向けた野心的なコミットメントを発表いただきました。ご参加に心から感謝します。

本日発表いただいたコミットメントも含め、過去2回のサミットを上回る額の資金コミットメントが行われました。

本日は、先進国か途上国かを問わず、また、政府、企業、民間財団、市民社会といった垣根を越えて、国際社会が一致団結して栄養問題に取り組んでいく強い姿勢を示すことができたと考えます。

ただ、コミットメントの表明はあくまで第一歩です。実際に、栄養不良を改善し、世界が抱える課題を解決するためには、コミットメントを表明したそれぞれが自らのコミットメントを着実に実行していく必要があります。

日本政府は、先ほど岸田総理が表明したコミットメントを着実に実施していくとともに、栄養改善に向けて国際社会の取組をリードし続けます。

明日は、関係国政府や専門家によるテーマ別のパネルディスカッションが行われ、栄養改善のため、世界の英知を結集する一日となります。

今日と明日の成果が次回フランスにおける栄養サミットにつながることを心から期待しています。ありがとうございました。